

ひょうごらくのうメモ

平成28年1月号

おいしいね 兵庫の牛乳 もう一本！



挿絵提供 題名 “うしきょうりゅう” 赤松 幸太郎 5才 (洲本市)
目次 (第32回らくのうひょうごフェスティバル応募作品)

1	「兵庫県酪農の新たな幕開けにむけて」兵庫県酪農農業協同組合連合会 代表理事会長 塩見 忠則
2	「新年のご挨拶」全国酪農農業協同組合連合会 代表理事会長 砂金 甚太郎
3	「新年のご挨拶」兵庫県農政環境部畜産課長 芦田 義則
4	生乳動向 (累計)
5	行事メモ 27年12月、28年1月
6	計画生産推進一覧表《27年度12月》
7	用途別販売成績《27年度12月》
8	生乳検査実績速報《27年度12月》
9	淡路家畜市場情報《27年度12月》
10	隣県家畜市場情報《27年度12月》
11	北海道産牛価格情勢《27年度12月》
12	北海道乳牛産地情報《27年度12月》
13	牛群成績平均情報《27年度12月》
14	乳用牛改良情報《27年度12月》
15	輸入粗飼料の情勢《27年度12月》

発行:兵庫県酪農農業協同組合連合会

「兵庫県酪農の新たな幕開けに向けて」

兵庫県酪農農業協同組合連合会
代表理事会長 塩見 忠則

新年明けましておめでとうございます。2016年の新春を迎え、酪農家並びに酪農・乳業関係者の皆様の酪農振興へのご尽力に対し深く敬意と感謝を申し上げます。

さて、国際的な乳製品の需要は、一昨年 of 逼迫状況からは脱したものの中国経済の減速、イスラム国によるテロの頻発等の中東情勢不安など懸念材料はありますがアジアを中心とした途上国の生活水準は大きく向上してきており今後とも増加していくものと考えられます。

一方、我が国の酪農情勢は、昨年11月アメリカアトランタでのTPPの大筋合意によって脱脂粉乳・バターは生乳換算で平成7年WTO枠のカレントアクセス13.7万トンに新たにTPP枠として7万トンが追加され日本酪農はより一層の自由化の波にさらされることとなります。また、畜産クラスター事業の実施や昨年4月からの乳価の値上げ等により北海道を始めとする酪農主要県では生乳の生産量が回復から増産基調へと推移してきています。が一方では、和牛やF1など肉用牛価格の高騰から副産物販売による所得確保のため和牛ETや和牛の授精率がここ数年上昇を続け、その結果として搾乳牛であるホルスタインの数が減少し北海道市場の初妊牛価格では採算の取れない価格まで跳ね上がってしまいました。また、生乳生産費は、円安による生産資材は依然高値のままであり、原油価格の下落による燃料費の下げが唯一の下げる要因となっています。

こうした情勢下で、自民党WTは「今後の生乳流通・取引体制等のあり方について」をまとめ、農林水産省の諮問機関により「今後生乳取引のあり方について」が作成されましたが、再生産が可能となる乳価交渉力の強化につながる内容かという従前のものを引き継いでいる感は否めず少し期待はずれだと言わざるを得ません。また、そのことで平成27年度と平成28年度乳価交渉との線引きが不透明な状況となってしまう平成27年度乳価は決着しないまま年を越えてしまいました。F1子牛などの副産物価格の上昇は一時的な収益改善にはつながるものの将来搾る牛がないという窮地は招いても安定経営へとつながるものではありません。生乳販売で再生産可能な収益の確保するのが酪農経営の原則であり、そのことが早く現実となるよう乳業メーカーにご理解いただき乳価の早期の決着に向けて近畿生乳販連に要請していきます。

そうしたなかでの本県酪農の現況は、平成27年度4-11月期の生乳生産量は

56,415 トンと昨年同期に対し 96.5%の 2,044 トンの減少となり、地域によって前年を上回ってきていますが、全体的では減少傾向に変わりはありません。また、昨年 8 月 1 日現在の会員別の戸数及び頭数調査では、酪農家戸数は 313 戸と前年 8 月の調査に対し 28 戸が減少、乳用牛頭数も 14,049 頭とこの 1 年で 947 頭の減少となりました。酪農家の減少に歯止めを掛け、搾乳用後継牛の安定確保による生乳生産基盤の維持及び強化は本県酪農の課題として長年取り組んできました。そしてその取組みとして、平成 26 年 6 月の通常総会において「兵庫県酪農農業協同組合設立に関する基本方針」を承認いただき、各地域から選任された 15 名で構成された発起人会が立ち上がり、県下全域を事業区域とする新たな酪農協の設立に向け、酪農家にとってどのような組合を作るのがよいのか検討協議を重ねられ、「兵庫県酪農農業協同組合の設立計画書」がまとめられました。設立計画書は、新たに設立する兵庫県酪農農業協同組合は平成 28 年 4 月より事業を開始するとし、将来に亘り安定的な酪農経営の継続ができ、そして、次世代を担う後継者が育つ酪農組合を県下の酪農家が一つにまとめ、自分達の手で作っていくとしております。そして、昨年 12 月 9 日には創立総会が開催され定款や事業計画等の承認および役員が選任され、いよいよ長年に亘り取り組んできた課題の解決に向け大きく動き出すこととなりました。ここに至るまでの発起人の方々の並々ならぬご努力に敬意を表するとともに行政を始めとする関係機関のご支援に対しお礼申し上げます。そして何より、兵庫県酪農農業協同組合の設立にご理解とご賛同をいただきました酪農家の皆様および会員組合の方々に厚くお礼申し上げます。

しかしながら、兵庫県酪農農業協同組合にとって先行きは大変厳しく不透明でもあり、幾多の困難が待ち受けていると思います。最初から全員が満足できる組合とはならないかもしれませんが、力を合わせ知恵を出し合い自分たちの手で、自分たちが目標とする組合作りに向け行政のご指導と関係機関のご理解・ご協力を得ながら一步一步着実に一糸乱れず進んでいかねばなりません。今年は正にその第一歩となります。

重ね重ね皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本県酪農と酪農家、そして関係者の皆様の益々の発展をご祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

おわり

「新年のご挨拶」

全国酪農業協同組合連合会
代表理事会長 砂金 甚太郎

新年明けましておめでとうございます。

兵庫県酪農農業協同組合連合会の会員酪農家・役職員の皆様におかれましては、良き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、弊会事業に特段のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

我が国の酪農を取り巻く情勢ですが、米国等の飼料穀物情勢や昨今の円安傾向により飼料価格は高止まりの状態にあります。また、酪農経営に多大な影響を及ぼすような自然災害が頻発しています。依然として酪農家戸数の減少や乳用牛頭数の減少傾向も続いています。

また、昨年10月にはTPP交渉が大筋合意に至りましたが、乳製品の一部や牛肉について段階的に関税率が引き下げられることとなります。この合意内容が我が国の酪農に与える影響は今後多岐にわたる可能性があり、綿密な分析が必要です。そして、将来の酪農経営に対する不安を払拭するため、酪農業界は一丸となって対応に当たらねばなりません。

日本の酪農は、安心・安全で高品質な牛乳乳製品を日々安定して供給することにより、日本人の食生活を支えています。また、学校給食を通じて、子どもたちの健康な身体づくりに多大な貢献を果たしております。それだけではなく、飼料作物などの生産による資源循環型農業を基幹として緑地保全を進め、国土の荒廃を防いでいます。まさしく、日本にとって欠かせない産業です。

私ども全酪連といたしましては、酪農専門農協の唯一の全国連として、今後とも全国の会員、酪農家・役職員の皆様のご協力と行政・関係団体のご指導ご支援を賜りながら、昨年度から始まった第十次中期事業計画に基づき酪農生産資材の安定供給や経営支援の強化、搾乳後継牛の確保などを通じて、我が国酪農生産基盤の維持・拡大に寄与していく所存であります。

最後に、兵庫県においては昨年末、兵庫県酪農農業協同組合の創立総会が開催され、本年4月1日から県下一円の新酪農協が発足すると伺っています。兵庫県酪農農業協同組合連合会のご発展と、新酪農協の事業が順調に開始されますこと、また加入されることになる酪農家の皆様方並びに職員の皆様のご健勝とご発展をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

以上

「新年のご挨拶」

兵庫県農政環境部畜産課長 芦田 義則

あけましておめでとうございます。新春を迎え、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

酪農家並びに関係の皆さまには、酪農・乳業の振興を通じ、県民の豊かな食生活の実現にご尽力いただいておりますことを心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、まず思い起こすのが12月9日に開催された「兵庫県酪農農業協同組合」の創立総会です。県内酪農組織の一本化は長年の懸案事項でした。各団体におかれては、平成10年度から県下一酪農協構想のもと、合併による一本化に取り組んでこられました。ところが、近年は足踏みの状況が続いておりました。ところが、今回の新酪農協設立という全国初となる方法により、皆さまの念願が達成されることとなりました。一本化による組織力の強化と酪農家の負担軽減は、酪農経営の安定化と次世代を担う後継者の育成につながるものと確信しており、県としましても新しい酪農協の活動を支援してまいりたいと考えております。

10月には、北海道で「全日本ホルスタイン共進会」が10年ぶりに開催されました。本県代表牛10頭が6つの区分に出場し、全国の強豪を相手に6頭が入賞と大変健闘されました。これも、ひとえに、北海道大会に向けて、出品牛を手塩にかけて育ててこられた生産者と、周りで支えてこられた関係者が互いに協力し合い、一丸となって努力された成果であると思っています。本県の活躍は、西日本有数の酪農県である「酪農ひょうご」の存在を全国に示すとともに、本県の乳牛改良と飼養管理技術の向上につながっていくものと確信しております。

また、8月には「兵庫県産牛乳乳製品ブランド開発・販売戦略協議会」により県産牛乳乳製品ブランドの統一ロゴマークデザインが決定されました。11月に開催された酪農フェスティバルでもこのロゴマークを使ったPR活動が展開されるなど、今後、県産生乳100%の製品の需要拡大に活用されていくものと期待します。

一方、10月にはTPP交渉が大筋合意しました。重要5品目の一つである乳製品については、脱脂粉乳、バターは一定のTPP輸入枠を設

定するほか、関税削減・撤廃は行わず、ホエイは長期の関税撤廃期間及びセーフガードを措置するとともに、チーズ等は現行関税を維持するか、長期の関税撤廃期間を確保することとなりました。12月に国が示した影響試算では、輸入は急増せず、体質強化対策や経営安定対策を適切に実施することにより、国内生産量が維持されると見込まれています。

このような中、県としても、国の対策の動向を踏まえて対応していきたいと考えていますが、酪農家の皆さまにとってはTPPの問題以前に、長期化した円安による飼料価格の高止まりなど、依然として厳しい状況が続いているものと認識しております。このような逆風とも言える状況に打ち勝つためには、更なる経営力の強化が不可欠となっています。

県では今後も引き続き新酪農協への円滑な業務移行を支援するとともに、高能力牛の導入や雌選別精液の利用等による遺伝的能力の改良や牛群検定の普及、畜産クラスター事業の活用など、経営の効率化を支援することにより、皆さまとともに「酪農ひょうご」の未来を切り拓いてゆく所存であります。

この一年が酪農家の方々をはじめ関係の皆さまに、そして本県酪農にとってよき年となりますよう祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

酪農メモ

平成28年1月
兵庫県酪連

報告

1. 生乳生産量の動き (全国)・・・(平成27年11月・牛乳乳製品統計)

	生乳生産量 (千トン)	対前年比 (%)
平成27年 4月	625.0	99.7
平成27年 5月	649.0	99.8
平成27年 6月	624.7	100.9
平成27年 7月	628.7	101.8
平成27年 8月	608.5	101.4
平成27年 9月	592.9	101.6
平成27年10月	603.3	99.1
平成27年11月	588.5	99.2
平成27年12月		
平成28年 1月		
平成28年 2月		
平成28年 3月		
平成27年度累計	4,920.5	99.2

2. 生乳計画生産推進の状況 (兵庫県酪連扱い分・公共施設を除く) (平成27年11月・前年より191.5減、・受託9団体中5団体が前年より増加)

	計画生産対象数量 (kg)	対前年比 (%)	対前々年比 (%)	戸数 (戸)
平成27年度累計	87,282,708	94.4	89.8	
平成27年 4月	7,579,585	95.4	90.2	327
平成27年 5月	7,641,564	93.5	89.2	324
平成27年 6月	7,082,231	95.1	89.1	321
平成27年 7月	7,003,371	99.0	91.9	321
平成27年 8月	6,711,744	98.1	93.4	320
平成27年 9月	6,579,859	98.4	90.0	320
平成27年10月	6,751,790	95.5	91.0	319
平成27年11月	6,697,989	98.1	91.9	315
平成27年12月	7,115,619	97.4	93.1	313
平成28年 1月				
平成28年 2月				
平成28年 3月				
平成27年度累計	63,163,752	96.6	91.0	

3. 行事メモ <平成27年12月、平成28年1月>

12月

◆ 15日 第14回全日本ホルスタイン共進会解団式

北海道で開催された第14回全日本ホルスタイン共進会の兵庫県出品者解団式が洲本市 夢海遊淡路島にて開催され、淡路農業技術センター 大川所長より出品牛10頭の成績並びに付帯行事等の報告が行われた。また、兵庫県農政環境部農林水産局 山内局長並びに兵庫県畜産振興議員連盟 永田議員より出品者、播磨農業高校の生徒、関係各位に対し慰労のお言葉を頂いた。

出品者8名を代表し団長の山本仁士氏より兵庫県並びに関係各位へお礼の言葉述べられ、5年後の宮崎県大会を新たな目標として、切磋琢磨していきたいと

述べられた。

1月

◆ 7日 兵庫県ホルスタイン改良協議会役員会

12月に開催された中国地区BWショウ（4月3日広島県開催）並びにセントラルジャパンホルスタインショウ（4月15・16日静岡県開催）の開催要領・衛生開催要領について、説明が行われた。

また、兵庫県BWショウ（3月5日淡路島牧場開催）の開催要領並びに衛生対策要領について、協議が行われた。

◆ 14日 理事会

1. 報告事項

1) 平成27年度計画生産進捗状況について

2. 協議事項

1) 会員団体長会議について

2) 兵庫県酪農ヘルパー事業円滑化対策事業実施要領の平成27年度実施計画の変更について

◆ 14日 会員団体長会議

1. 報告事項

1) 事業状況について

2) 兵庫県酪農農業協同組合の設立について

2. 協議事項

1) 兵庫県酪農農業協同組合設立に伴う諸手続きについて
(説明・依頼)

4. 行事予定<平成28年1月、2月、3月>

1月16日 冬季牛群審査・体型調査（21日まで）

3月 5日 兵庫県ブラック・アンド・ホワイト・ショウ（淡路島牧場）

16日 兵庫県酪農研究会（農業共済会館7F）

1月精液配布コース予定日

6日但馬コース 19日西播コース 20日淡路コース 26日東播コース

2月精液配布コース予定日

2日丹波コース 9日但馬コース 10日淡路コース 23日西播コース

平成27年度12月用途別販売実績（速報）

平成 28 年 1 月 15 日
一般社団法人 中央酪農会

1) 総受託乳量

2) 販売乳量（全乳哺育・緊急余乳を除く）

指定団体	12月		4-12月累計		指定団体	12月		4-12月累計											
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %										
北海道	317,911	102.0 (102.5)	2,851,336	101.7 (102.1)	北海道	317,911	102.0	2,851,336	101.7										
青森	5,334	99.9	46,939	95.7	/	/	/	/	/										
岩手	16,860	100.0	151,682	100.1															
宮城	9,886	101.9	88,691	100.2															
秋田	2,308	98.6	20,508	97.9															
山形	5,267	98.1	49,262	100.4															
福島	5,552	95.5	51,288	96.4															
東北生乳販連	45,207	99.5 (99.9)	408,369	99.0 (99.3)						東北生乳販連	45,206	99.5	408,358	99.0					
茨城	13,199	101.4	117,338	99.8						/	/	/	/	/					
栃木	27,003	102.6	243,278	103.9															
群馬	17,653	101.2	158,102	99.9															
埼玉	4,797	99.2	42,999	96.3															
千葉	17,836	98.6	159,949	99.5															
東京	818	96.6	7,113	96.8															
神奈川	3,206	97.6	28,747	96.6															
山梨	1,060	106.1	9,552	102.4															
静岡	7,106	98.9	63,800	99.5															
関東生乳販連	92,679	100.7	830,877	100.6	関東生乳販連	92,679	100.7	830,877	100.6										
新潟	3,970	95.3	36,448	96.3	/	/	/	/	/										
富山	1,016	98.3	9,404	97.5															
石川	1,807	100.7	16,037	98.5															
福井	522	95.3	4,841	99.4															
北陸酪連	7,316	97.0	66,730	97.2											北陸酪連	7,316	97.0	66,730	97.2
長野	8,089	98.2	74,295	97.5															
岐阜	3,316	95.9	30,131	96.5															
愛知	15,016	97.2	135,436	97.6															
三重	4,336	99.9	37,887	97.2															
東海酪連	30,757	97.7	277,750	97.4						東海酪連	30,757	97.7	277,750	97.4					
滋賀	1,603	113.1	14,442	114.2						/	/	/	/	/					
京都	1,781	95.1	16,159	96.2															
大阪	820	100.1	7,405	98.5															
兵庫	7,116	97.4	63,164	96.6															
奈良	2,106	101.5	18,868	100.7															
和歌山	404	111.9	3,531	111.9															
近畿生乳販連	13,830	99.8	123,569	99.5	近畿生乳販連	13,830	99.8	123,569	99.5										
鳥取	4,686	99.4	41,606	100.0	/	/	/	/	/										
島根	5,436	106.9	48,259	104.9															
岡山	7,658	100.1	69,949	100.5															
広島	4,029	100.1	36,582	97.4															
山口	1,318	93.5	9,726	78.7															
中国生乳販連	23,126	101.1 (101.1)	206,122	99.5 (100.9)											中国生乳販連	23,126	101.1	206,122	99.5
徳島	2,571	95.6	23,438	96.9											/	/	/	/	/
香川	2,844	98.7	25,954	99.8															
愛媛	2,472	86.2	22,208	86.6															
高知	1,844	100.3	16,164	97.8															
四国生乳販連	9,731	94.7 (98.1)	87,764	95.0 (98.2)						四国生乳販連	9,731	94.7	87,764	95.0					
福岡	6,769	96.4	60,856	99.4						/	/	/	/	/					
佐賀	1,376	99.6	12,416	99.1															
長崎	3,591	84.9	31,944	89.9															
熊本	20,848	101.3	184,923	103.0															
大分	6,204	99.1	55,543	98.5															
宮崎	6,980	98.2	62,471	99.8															
鹿児島	7,488	100.5	67,790	100.9															
九州生乳販連	53,255	98.6 (99.4)	475,943	100.2 (101.1)	九州生乳販連	53,255	98.6	475,943	100.2										
都府県	275,900	99.4 (99.8)	2,477,124	99.4 (99.9)	都府県	275,899	99.4	2,477,114	99.4										
合計	593,811	100.8 (101.2)	5,328,460	100.6 (101.1)	合計	593,810	100.8	5,328,450	100.6										

注1) この速報は、キログラム (kg) で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

注2) 総受託乳量の括弧内の前年比は、アウト・イン修正後の前年比

3) 飲用牛乳向

4) はっ酵乳等向

指定団体	12月		4-12月累計		指定団体	12月		4-12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	53,666	102.1	574,950	99.9	北海道	998	72.8	14,209	107.4
東北生乳販連	31,998	99.9	298,383	98.8	東北生乳販連	5,376	112.2	56,128	114.0
関東生乳販連	65,626	103.0	628,661	102.1	関東生乳販連	12,224	99.6	116,231	97.7
北陸酪連	6,823	97.2	63,433	97.4	北陸酪連	289	125.3	2,244	109.9
東海酪連	24,167	94.7	228,369	95.4	東海酪連	3,681	129.6	34,723	112.3
近畿生乳販連	12,753	99.9	115,588	99.7	近畿生乳販連	815	98.1	7,408	98.9
中国生乳販連	16,419	100.2	148,037	98.9	中国生乳販連	4,685	103.4	45,133	101.9
四国生乳販連	8,929	96.2	81,121	94.7	四国生乳販連	304	139.9	2,707	130.0
九州生乳販連	33,422	96.1	342,233	98.5	九州生乳販連	6,147	109.1	63,376	109.4
都府県	200,138	99.3	1,905,826	99.2	都府県	33,521	106.9	327,950	104.8
合計	253,804	99.9	2,480,776	99.4	合計	34,519	105.5	342,159	104.9

5) 特定乳製品向け (脱脂粉乳・バター等向け)

6) 生クリーム等向け

指定団体	12月		4-12月累計		指定団体	12月		4-12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	125,879	109.6	999,613	109.3	北海道	102,979	97.6	944,577	98.4
東北生乳販連	5,397	93.4	35,715	87.3	東北生乳販連	2,174	86.1	15,739	89.6
関東生乳販連	12,705	93.6	69,469	93.9	関東生乳販連	2,054	85.5	15,917	94.5
北陸酪連	142	61.7	535	57.7	北陸酪連	55	93.7	467	95.6
東海酪連	2,397	88.5	9,740	89.5	東海酪連	380	142.8	3,617	129.1
近畿生乳販連	260	99.8	554	66.1	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	988	101.1	5,325	101.0	中国生乳販連	1,000	104.6	7,324	95.8
四国生乳販連	325	54.4	2,299	79.6	四国生乳販連	170	97.7	1,587	96.8
九州生乳販連	9,674	97.4	39,851	96.1	九州生乳販連	3,914	108.4	29,601	108.3
都府県	31,887	93.6	163,488	92.3	都府県	9,747	97.5	74,251	99.9
合計	157,766	105.9	1,163,101	106.5	合計	112,726	97.6	1,018,829	98.5

7) チーズ向け

8) 全乳哺育向け

指定団体	12月		4-12月累計		指定団体	12月		4-12月累計	
	トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %		トン	前年同月比 %	トン	前年同期比 %
北海道	34,389	92.1	317,987	93.4	北海道	0	-	0	-
東北生乳販連	262	91.2	2,393	96.2	東北生乳販連	1	100.0	11	98.9
関東生乳販連	69	117.1	598	112.1	関東生乳販連	0	-	0	-
北陸酪連	6	115.5	51	100.9	北陸酪連	0	-	0	-
東海酪連	132	93.6	1,301	108.9	東海酪連	0	-	0	-
近畿生乳販連	2	146.2	18	192.0	近畿生乳販連	0	-	0	-
中国生乳販連	34	110.1	303	100.6	中国生乳販連	0	-	0	-
四国生乳販連	4	50.4	51	75.5	四国生乳販連	0	-	0	-
九州生乳販連	98	108.8	882	110.9	九州生乳販連	0	-	0	-
都府県	606	97.6	5,598	102.9	都府県	1	100.0	11	98.9
合計	34,994	92.2	323,585	93.6	合計	1	100.0	11	98.9

注) この速報は、キロ (kg) で報告いただいた数量をトンに直して小数点以下を四捨五入した数値となっておりますので、合計値が一致していないことがあります。予めご了承下さい。

生乳検査実績速報

＊ ＊平成27年12月分＊ ＊

全組合におけるバルク検査月間平均値は、乳脂肪率4.01%(前年同月-0.01%)、乳蛋白質率3.40%(前年同月比+0.03%)、無脂固形分率8.81%(前年同月比+0.04%)、体細胞数29.0万/ml(前年同月比+0.1万/ml)、細菌数5.0万/ml(前年同月比-0.6万/ml)であった。

地域別バルク検査月間平均値並びに地域別・組合別の乳質改善達成状況を別表に示す。

(単位:戸・%・万/ml)

地域名	検査戸数		乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月	当月	前月
阪 神	48	48	3.98	3.94	3.37	3.34	8.78	8.73	33.2	33.7	5.3	4.6
播 州	76	76	4.00	3.95	3.41	3.38	8.83	8.79	29.2	31.4	5.5	7.4
丹 但	39	39	3.95	3.95	3.43	3.40	8.83	8.81	37.3	30.8	6.5	13.6
淡 路	138	139	4.04	4.05	3.39	3.36	8.80	8.77	25.1	25.4	4.1	4.6
県 平 均	301	302	4.01	4.00	3.40	3.37	8.81	8.77	29.0	28.9	5.0	6.5

『地域別乳質改善目標達成割合』

(単位:件・%)

地域名	検査延べ件数	乳脂肪率 3.7%以上	乳蛋白質率 3.2%以上	無脂固形分率 8.7%以上	体細胞数 25万未満	細菌数 10万未満
阪 神	144	91.0	92.4	70.8	41.0	84.7
播 州	228	91.7	92.1	82.9	53.5	90.4
丹 但	117	85.5	93.2	79.5	44.4	85.5
淡 路	414	93.7	84.3	68.1	63.5	92.3
県 平 均	903	91.7	88.7	73.8	54.9	89.7

『組合別バルク検査平均値及び目標達成割合』

(単位:件・%・万/ml)

組合名	検査延べ件数	乳脂肪率		乳蛋白質率		無脂固形分率		体細胞数		細菌数	
		検査成績	3.70%以上	検査成績	3.20%以上	検査成績	8.70%以上	検査成績	25万未満	検査成績	10万未満
兵庫六甲	144	3.98	91.0	3.37	92.4	8.78	70.8	33.2	41.0	5.3	84.7
みのり	54	3.95	96.3	3.38	88.9	8.79	81.5	32.7	55.6	6.0	79.6
東 播	129	3.99	88.4	3.40	92.2	8.83	84.5	29.4	49.6	5.2	93.8
西 播	45	4.11	95.6	3.49	95.6	8.90	80.0	24.6	62.2	6.0	93.3
北 但	36	3.85	72.2	3.38	91.7	8.81	75.0	40.0	33.3	6.7	83.3
兵庫丹但	72	4.00	90.3	3.44	93.1	8.84	79.2	33.1	47.2	5.8	88.9
たじま	9	3.99	100.0	3.49	100.0	8.83	100.0	59.6	66.7	11.4	66.7
淡路日の出	75	4.00	96.0	3.32	80.0	8.70	58.7	28.3	61.3	3.3	94.7
淡 路 島	339	4.05	93.2	3.40	85.3	8.82	70.2	24.4	64.0	4.3	91.7
県 平 均	903	4.01	91.7	3.40	88.7	8.81	73.8	29.0	54.9	5.0	89.7

淡路家畜市場情報

平成27年12月9日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	22	209,471	270,000	66,960			55
前回	34	201,769		270,000	36,720			55	7,702	3.8%	
前年	23	138,522		196,560	55,080			52	70,949	51.2%	
オス	今回	33	219,960	326,160	34,560			54			
	前回	33	235,833	302,400	5,400			54	-15,873	-6.7%	
	前年	27	175,800	209,520	118,800			53	44,160	25.1%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回	2	48,060		50,760	45,360			58	-48,060	-100.0%	
前年											
オス	今回	29	81,559	118,800	24,840			50			
	前回	23	87,762	108,000	9,720			54	-6,203	-7.1%	
	前年	25	30,758	46,440	7,560			47	50,801	165.2%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は平成27年11月25日・前は平成26年12月9日

平成27年12月25日

F1 スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回	26	229,334	276,480	129,600			56
前回	22	209,471		270,000	66,960			55	19,863	9.5%	
前年	28	136,389		187,920	34,560			56	92,945	68.1%	
オス	今回	56	213,801	321,840	16,200			54			
	前回	33	219,960	326,160	34,560			54	-6,159	-2.8%	
	前年	37	165,357	201,960	60,480			54	48,444	29.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

ホルス スモール			頭数(頭)	平均価格(円)	最高価格(円)	最低価格(円)	平均体重(kg)	キロ単価(円)	平均日令(日)	平均価格の増減	対比
			メス	今回							
前回											
前年	1	7,560		7,560	7,560			49	-7,560	-100.0%	
オス	今回	21	99,154	131,760	16,200			53			
	前回	29	81,559	118,800	24,840			50	17,595	21.6%	
	前年	35	40,917	61,560	1,080			48	58,237	142.3%	
去勢	今回										
	前回										
	前年										

* 前は平成27年12月9日・前は平成26年12月25日

隣県家畜市場情報

乳用種(雄のみ)

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
24年次	30,432	1,134	29,466	2,818	31,175	555	34,426	132,079	
25年次	39,224	1,064	39,408	2,591	40,251	535	47,630	134,379	
26年次	45,380	991	41,498	2,237	45,757	433	46,726	124,624	
26	1	46,603	112	42,450	224	52,585	37	43,597	11,311
	2	45,737	102	41,930	195	45,423	50	49,809	9,677
	3	49,773	77	46,911	192	46,561	32	53,347	10,165
	4	54,930	72	48,833	104	56,765	25	58,897	10,659
	5	57,352	48	55,446	175	63,981	29	57,907	9,951
	6	70,999	50	66,441	121	91,286	21	63,695	9,279
	7	65,006	63	60,167	195	65,218	31	53,529	11,416
	8	43,655	57	43,599	187	47,680	27	39,446	10,422
	9	36,863	113	26,139	209	25,615	46	34,305	11,533
	10	31,726	117	26,287	225	23,409	43	31,458	10,584
	11	37,254	87	29,091	208	35,460	48	36,298	9,894
	12	35,419	93	29,722	202	39,052	44	41,177	9,733
27	1	42,435	89	30,627	199	37,896	45	42,589	9,941
	2	45,736	89	42,098	171	47,849	23	48,291	9,125
	3	50,936	99	44,416	173	52,522	19	53,492	10,032
	4	52,510	79	53,030	196	62,554	25	62,662	10,143
	5	62,359	50	73,460	108	92,475	16	77,131	8,830
	6	77,393	103	86,335	116	115,440	18	95,198	10,111
	7	81,797	61	86,855	185	121,298	16	78,017	10,861
	8	79,956	90	89,328	149	88,034	37	67,397	10,256
	9	66,669	89	67,237	117	74,520	82	73,065	11,554
	10	70,556	88	70,116	206	69,880	27	83,549	10,357
	11	70,928	92	74,955	211	89,616	46	100,629	9,002
	12								

交雑種・乳

年 月	岡山総合		広島・三次		徳島畜産センター		平均・合計(全国)		
	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	平均価格	取引頭数	
24年次	106,019	3,091	101,180	4,656	139,380	3,306	105,824	153,194	
25年次	137,628	3,156	136,753	4,398	168,714	3,078	147,093	144,430	
26年次	160,668	3,350	157,194	4,692	200,255	3,030	162,876	153,389	
26	1	163,922	251	152,846	409	192,214	293	161,446	12,966
	2	154,327	269	150,823	398	193,414	324	163,446	11,955
	3	157,029	283	151,637	397	196,899	289	163,118	12,262
	4	172,148	313	170,883	200	204,662	265	172,444	12,321
	5	176,829	219	174,222	423	209,894	208	172,745	11,702
	6	185,600	155	188,604	299	225,060	202	180,975	11,049
	7	168,076	246	176,616	421	229,940	162	179,289	12,423
	8	159,367	251	165,517	393	205,206	201	160,856	12,108
	9	153,253	353	144,159	376	197,263	215	155,993	14,410
	10	157,537	272	149,657	483	191,679	260	148,817	14,265
	11	151,215	370	144,909	406	188,195	318	154,006	13,596
	12	150,872	368	135,161	487	194,327	293	150,061	14,332
27	1	148,012	331	138,651	487	190,521	306	145,544	14,171
	2	150,483	333	148,141	419	198,664	291	150,936	13,728
	3	165,403	365	152,588	429	199,459	244	162,305	14,768
	4	171,570	316	168,726	492	224,249	257	184,720	14,248
	5	194,555	259	197,189	342	254,611	257	201,660	12,589
	6	235,273	303	238,612	349	284,977	219	222,884	13,166
	7	237,950	253	233,108	485	300,673	172	224,914	13,620
	8	228,293	269	223,347	386	283,628	194	211,544	13,009
	9	203,124	321	209,127	366	274,057	214	210,252	14,814
	10	205,402	262	200,233	509	251,479	241	209,951	14,091
	11	203,818	272	203,127	496	267,273	303	221,563	13,162
	12								

※ 生後60日齢までの情報になっておりますので、ご注意下さい。

北海道産牛価格情勢

(平成27年12版)

ホクレン家畜市場情報

(初妊牛ホル)

27年12月市場開催結果

家畜市場名	開催日	平均金額	前年同月比(参考)		
ホクレン南北海道市場	4日	576,000円	503,000円	73,000	114.5%
ホクレン釧路市場	9日	591,000円	516,000円	75,000	114.5%
ホクレン根室市場	10日	656,000円	550,000円	106,000	119.3%
ホクレン豊富市場	11日	639,000円	494,000円	145,000	129.4%
ホクレン十勝市場	16日	700,000円	565,000円	135,000	123.9%
ホクレン十勝市場	17日	700,000円	565,000円	135,000	123.9%
ホクレン北見市場	18日	658,000円	536,000円	122,000	122.8%
	日	円	円		%
平均		661,000円	538,000円	123,000	122.9%

1月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	前月	昨年
ホクレン南北海道市場	8日	576,000円	525,000円
ホクレン豊富市場	14日	639,000円	552,000円
ホクレン根室市場	18日	656,000円	584,000円
ホクレン釧路市場	19日	591,000円	544,000円
ホクレン十勝市場	20日	700,000円	597,000円
ホクレン十勝市場	21日	700,000円	597,000円
ホクレン北見市場	22日	658,000円	561,000円
	日	円	円
平均		661,000円	578,000円

2月ホクレン市場日程と参考情報

開催家畜市場名	開催日	昨年
ホクレン十勝市場	3日	578,000円
ホクレン根室市場	4日	565,000円
ホクレン南北海道市場	5日	522,000円
ホクレン豊富市場	12日	529,000円
ホクレン釧路市場	17日	574,000円
ホクレン十勝市場	18日	578,000円
ホクレン北見市場	19日	555,000円
ホクレン根室市場	25日	597,000円
平均		570,000円

兵庫県酪連 事業部購買課

北海道乳牛産地情報

(平成28年1月1日現在)

事務所	畜種	相場(万円)	価格状況	管内状況
札幌管内	育成牛(10-12月令)	2.7~3.5	横ばい	札幌管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計98.1%、累計で98.5%、苫小牧管内月計で101.6%、累計で100.5%の実績となっております。
	初妊牛	5.8~6.3	強含み	1月の初妊牛動向は3月~4月分挽のF1挽が中心となり、北海道内の相場が上昇することを受け南北海道管内の引き合いも強くなるものと見込まれます。出回る頭数としては例年並みの資源となりますが、荷動きは早くなっており、早めの導入が重要になってくるものと思われ、高血脈、高能力の牛が多い地域でもありません。
	経産牛	4.3~4.8	横ばい	様々なタイプのご注文に於じます。
釧路管内	育成牛(10-12月令)	3.5~4.0	やや強含み	根釧管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で104.3%、累計で102.4%、中標津管内月計で100.7%、累計で100.6%の実績となっております。
	初妊牛	6.0~7.0	強含み	1月の初妊牛動向は3月~4月分挽が中心となります。12月の根釧市場では初妊牛平均655千円(税込)の高値となり、今後も春産期が中心となる事や、引き継ぎ道内、都府県ともに活発な購入が予想される事から更に相場の上昇も予想されます。荷動きも更に早まりますので、早めのご注文をお願いいたします。また、価格を優先される場合はやや割安な通常精液を授精したホルン版の導入もご検討ください。
	経産牛	4.5~5.0	横ばい	帯広管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で104.4%、累計104.4%での実績となっております。
帯広管内	育成牛(10-12月令)	3.2~4.0	やや強含み	1月の初妊牛動向は3月~4月分挽が中心で、例年同様は道内、道外問わず導入需要の増加に加え、上場頭数も秋より少なくなることから引き合いはかかなり強くなります。今年、ここ数ヶ月の相場の高止まりと12月相場の急騰がさらさらさら相場は一段と上昇するものと予想されます。産先購買の動きとしては、3か月前の遊めの分挽牛を早めに確保する動きが必要と見られます。
	初妊牛	6.0~6.8	強含み	道北管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で102.4%、累計で101.1%、北見管内月計で100.8%、累計で100.7%の実績となっております。
	経産牛	4.5~5.0	横ばい	1月の初妊牛動向は、3月~4月分挽中心となり、導入腹については、F1版主体の動向ですが、産先に向けて、後継牛対策である、雌雄選別、ホルン版の需要が増加傾向にあり価格も上昇しています。今後、産先の分挽牛については、今までと異なり、F1版だけでなく、X腹、ホルン版も後継牛確保に向けて、都府県、道内大型牧場の購買の需要が増加傾向にあり、相場の急騰高騰は避けられない状況です。
道内	育成牛(10-12月令)	3.5~4.0	横ばい	道内の12月中旬までの生乳生産量前年比は102.1%、累計で101.7%の実績となっております。
	初妊牛	5.8~6.8	強含み	1月の初妊牛動向は、3月~4月分挽中心として、年明けの需要は多く、出回り頭数的に品薄感があため、全道的に価格が急上昇し、中クラス初妊牛としては65万からの値動きとなると予想されます。価格帯では上物クラスは高血脈、安定、スソ物クラスは底上げが強く、幅が狭くなり牛の差がなくなり牛の価格に差がない状況になると思われます。導入する側としては大変難しい状況となりそうです。年明けの荷動きは特に早くなると予想されますので、3か月前までに見越した購買計画を立てられ、早めのご注文をお願い致します。
	経産牛	4.5~5.0	横ばい	

*上記相場は、血統登録牛(中クラス)の産先選育購買による予想相場です。

産先選育購買のため、市場購買とは異なります。

新年明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いたします。
 毎度、乳牛購買事業に大変ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
 乳牛の導入計画に大変ご協力がありましたら、最寄りの支所へご一報下さい。
 担当者がお伺いし、最近の状況をご説明し、納得いただいた上より購買の支所と札幌支所がお世話申し上げます。
 また、購買後の輸送・事故処理は責任を持って最寄りの支所と札幌支所がお世話申し上げます。

全国酪農協同組合連合会(全酪連)

札幌支所
TEL: 011-241-0765

《 各事務所電話番号 》
 釧路事務所 (0154)52-1232
 帯広事務所 (0155)37-6051
 道北事務所 (01654)2-2368

牛群成績平均情報 1

平成 27年 12月分

2016/01/08

64

1 / 2
兵庫
集計

全 134 戸中 120 戸集計

年間集計	kg (1戸平均)	千円 (1戸平均)	生乳100kg当り 要した飼料費
乳量	45,910,776 (382,590)	4,785,969 (39,883)	2247円
濃厚飼料	19,197,112 (159,976)	1,031,774 (8,598)	乳飼比 22%
	前年対比 102%	前年対比 104%	
	101%	102%	飼料効果 2.4
	乳代一 濃厚飼料費	3,754,196 (31,285)	
		前年対比 105%	

検査日成績 (1戸平均)	検査乳量	出荷乳量	乳代 濃厚飼料費	1頭1日当たり平均	1kg単価
今月	1033	1021	108390	3.38	106
前月	1005	1015	105307	3.35	106
3カ月	1005	1004	106690	3.34	107
過去1カ年	1045	1053	108926	3.30	105

前回の 日から 検査までの 回数	検査から 発行までの 日数
平均 28	日平均 11.9

移動 13ヶ月 成績	牛 群				標 分			
	戸数	経産牛	搾乳牛	搾乳日数	頭数	初産	産	雌
検査日	12	5552 (40.8)	4626 (34.0)	84	209	441 (3.7)	146 (1.2)	215 (1.8)
	1	5682 (41.8)	4820 (35.4)	86	211	462 (3.9)	127 (1.1)	213 (1.8)
	2	5656 (42.5)	4923 (37.0)	88	210	383 (3.2)	128 (1.1)	181 (1.5)
	3	5653 (42.8)	4978 (37.7)	90	216	373 (3.1)	131 (1.1)	161 (1.3)
	4	5515 (43.4)	4909 (38.7)	91	221	305 (2.5)	139 (1.2)	137 (1.1)
	5	5484 (43.9)	4824 (38.6)	91	230	282 (2.4)	121 (1.0)	133 (1.1)
	6	5508 (43.7)	4722 (37.5)	89	239	320 (2.7)	118 (1.0)	148 (1.2)
	7	5331 (42.6)	4471 (35.8)	87	238	426 (3.6)	136 (1.1)	207 (1.7)
	8	5621 (43.9)	4684 (36.6)	86	232	435 (3.6)	136 (1.1)	214 (1.8)
	9	5564 (44.5)	4637 (37.1)	86	232	455 (3.8)	122 (1.0)	208 (1.7)
	10	5526 (43.5)	4593 (36.2)	86	229	442 (3.7)	134 (1.1)	197 (1.6)
	11	5575 (43.9)	4615 (36.3)	86	225	431 (3.6)	119 (1.0)	210 (1.8)
	12	5243 (43.7)	4376 (36.5)	86	222	184 (1.5)	50 (0.4)	82 (0.7)
平均計	120	5127 (42.7)	4521 (37.7)	87	224	4755 (39.6)	1557 (13.0)	2224 (18.5)
前年成績	120	5145 (42.9)	4525 (37.7)	87	222	4688 (39.1)	1465 (12.2)	2234 (18.6)

検査日 階層	1 産 産				2 産 産				3 産 産			
	21日 以下	22日 ~	23日 ~	24日 以上	21日 以下	22日 ~	23日 ~	24日 以上	21日 以下	22日 ~	23日 ~	24日 以上
55以上	18	1.1	0.3	0.1	1.4	0.4	0.2	0.3	0.1	0.4	0.2	0.1
50	53	0.8	0.4	0.1	1.1	0.5	0.2	0.4	0.2	0.5	0.2	0.1
45	125	1.3	0.8	0.3	2.0	1.8	0.9	1.1	0.6	1.4	0.8	0.4
40	298	2.9	1.6	0.6	4.0	3.6	2.2	2.1	1.7	2.4	1.6	0.9
35	522	5.9	3.3	1.2	7.1	6.4	4.0	2.5	2.7	3.9	2.5	1.4
30	805	9.9	5.5	2.7	11.6	10.3	6.2	3.9	4.2	5.9	4.0	2.2
25	958	13.3	7.5	4.4	16.2	14.6	8.6	5.1	5.6	7.7	5.4	3.0
20	770	11.2	6.5	3.8	14.5	13.0	7.8	4.6	5.0	6.8	4.8	2.8
15	509	7.1	4.2	2.2	9.5	8.6	5.1	3.1	3.4	4.8	3.4	2.1
15未満	318	2.3	1.4	0.5	4.1	3.7	2.2	1.4	1.5	2.1	1.4	0.8
頭数	52	119	193	415	380	341	151	261	491	749	480	744
標準乳量	31.8	31.9	32.8	33.1	33.4	33.3	32.5	33.1	32.2	32.8	33.5	32.6
平均乳量	26.0	29.6	30.3	28.2	25.4	21.9	34.6	38.8	36.6	31.9	25.8	19.9
乳脂率	4.41	3.72	3.70	3.86	4.12	4.36	4.48	3.95	3.81	3.87	4.08	4.28
蛋白質率	3.38	2.98	3.07	3.33	3.59	3.80	3.41	3.05	3.08	3.31	3.59	3.80
無脂固形分率	8.80	8.57	8.68	8.92	9.13	9.31	8.81	8.56	8.58	8.78	8.94	9.09
MUN mg/dl	10.3	11.2	11.8	12.1	11.6	11.2	9.4	9.6	10.9	11.8	11.5	11.3
濃厚飼料給与量	11.0	11.8	11.5	11.8	11.5	10.9	11.6	12.5	12.6	12.2	11.4	10.7
B C 管理	3.13	3.00	3.06	3.09	2.94	2.98	2.88	3.06	3.03	2.99	3.06	3.15

()内は、1戸平均。

MAX:28.8 DAY:66 MID:27.4 LP:96.6
MAX:35.1 DAY:36 MID:30.0 LP:91.3

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

21日以下 22日~ 23日~ 24日以上

年 間 305日 成 績	頭数	乳量		乳脂率		蛋白質率		無脂固形分率		箱呼量	
		1産	2産	1産	2産	1産	2産	1産	2産	1産	2産
1産	1448	8336	3.81	3.26	8.82	9992					
2産	1022	9632	3.88	3.25	8.72	10523					
3産以上	1372	9595	3.83	3.22	8.63	9754					
平均又は 合計	3842	9130	3.84	3.24	8.72	10048					

年 間 305日 成 績	頭数	乳量		乳脂率		蛋白質率		無脂固形分率		箱呼量	
		1産	2産	1産	2産	1産	2産	1産	2産	1産	2産
1産	1448	8336	3.81	3.26	8.82	9992					
2産	1022	9632	3.88	3.25	8.72	10523					
3産以上	1372	9595	3.83	3.22	8.63	9754					
平均又は 合計	3842	9130	3.84	3.24	8.72	10048					

年 間 305日 成 績	頭数	乳量		乳脂率		蛋白質率		無脂固形分率		箱呼量	
		1産	2産	1産	2産	1産	2産	1産	2産	1産	2産
1産	1448	8336	3.81	3.26	8.82	9992					
2産	1022	9632	3.88	3.25	8.72	10523					
3産以上	1372	9595	3.83	3.22	8.63	9754					
平均又は 合計	3842	9130	3.84	3.24	8.72	10048					

年 間 305日 成 績	頭数	乳量		乳脂率		蛋白質率		無脂固形分率		箱呼量	
		1産	2産	1産	2産	1産	2産	1産	2産	1産	2産
1産	1448	8336	3.81	3.26	8.82	9992					
2産	1022	9632	3.88	3.25	8.72	10523					
3産以上	1372	9595	3.83	3.22	8.63	9754					
平均又は 合計	3842	9130	3.84	3.24	8.72	10048					

発行：(一)社畜政良事業団

牛群成績平均情報 2

平成 27 年 12 月分

2016/01/08

64

2 / 2

兵庫

全 134 戸中 120 戸集計

移動 13ヵ月 成順	授精		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数		授精回数					
	授精 率	授精 回数	授精 率	授精 回数	授精 率	授精 回数	授精 率	授精 回数	授精 率	授精 回数	授精 率	授精 回数	授精 率	授精 回数	授精 率	授精 回数	授精 率	授精 回数				
12	1129	9.4	31	2.6	39	43	80	14.0	58	2295	16.9	177	7	13	14	14	52	61	13	63	23	11
1	1128	9.4	32	2.6	37	37	85	15.1	56	2274	16.7	178	8	13	14	13	52	61	13	64	23	11
2	970	8.1	33	2.4	33	34	84	15.2	53	2366	17.8	174	8	14	14	14	50	61	13	64	24	11
3	1124	9.4	35	2.5	35	42	88	14.9	56	2412	18.3	172	8	14	15	13	49	61	13	64	24	11
4	969	8.1	34	2.6	35	35	81	15.5	53	2535	20.0	167	9	15	16	13	46	62	12	63	24	12
5	940	7.8	33	2.7	37	34	85	16.0	54	2689	21.5	167	8	15	16	13	47	62	12	63	25	12
6	815	6.8	31	2.6	38	35	89	14.9	58	2959	23.5	166	8	16	17	14	46	62	12	63	25	12
7	816	6.8	36	2.7	41	25	99	15.6	57	2914	23.3	165	7	15	18	14	46	62	12	63	25	12
8	749	6.2	39	2.9	45	28	88	15.6	51	3039	23.7	166	7	16	17	14	46	62	13	63	25	12
9	1033	8.6	36	2.7	41	34	86	14.9	53	2848	22.8	167	7	14	17	15	47	62	13	63	24	12
10	1098	9.2	36	2.7	41	19	84	14.8	61	2557	20.1	167	7	14	17	15	47	62	13	64	24	12
11	1039	8.7	30	2.7	39	1	89	14.4	60	2370	18.7	170	7	13	16	15	49	62	13	64	23	12
12	487	4.1	30	2.8	43	0	90	14.1	64	2186	18.2	171	6	14	15	14	51	61	13	64	23	11
平均・計	11810	98.4	34	2.6	38	34	86	15.0	56	2479	20.7	167	8	15	16	14	47	62	13	64	24	12
前年成績	11491	95.8	31	2.6	39	34	86	14.4	54	2496	20.8	171	8	14	15	14	48	62	13	64	22	11

0内は、1戸平均。

項目別 種雄牛成績	種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛区分別種雄牛頭数		種雄牛区分別種雄牛頭数	
	授精・妊娠	未妊産	授精・妊娠	未妊産	授精・妊娠	未妊産	授精・妊娠	未妊産	授精・妊娠	未妊産	授精・妊娠	未妊産	授精・妊娠	未妊産	授精・妊娠	未妊産	授精・妊娠	未妊産
授精・妊娠	3980	838	42	11	8	49	+2276	+1224	-0.08	+0.01	+113427	8	2	2	2	2	2	2
未妊産	486	74	20	6	20	6	+1682	+933	-0.09	-0.02	+85225	20	6	20	6	20	6	20
1産以上	1765	78	30	2	20	20	+1662	+871	-0.04	-0.01	+84105	20	20	20	20	20	20	20
2産以上	3478	68	25	32	32	32	+1230	+799	-0.11	-0.03	+70448	32	32	32	32	32	32	32

(注) 乳代効果と無脂固形分率には海外種雄牛も含めておりません

初産分娩 月齢	21以下		22~		23~		24~		25~		26~		27~		28~		29~		30以上		合計頭数	
	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%
2産	1132	24	24	15	10	33	438	440	15	15	12	37	449	453	12	36	444	465	11	35	443	452
3産	731	22	22	14	14	15	12	37	449	453	12	36	444	465	11	35	443	452	11	35	443	452
4産以上	872	21	21	16	16	15	12	36	444	465	11	35	443	452	11	35	443	452	11	35	443	452
平均又は 合計	2735	23	23	16	15	11	35	443	452	11	35	443	452	11	35	443	452	11	35	443	452	1445

月別分娩 予定頭数	12月		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		合計頭数	
	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%
12月	11	16	17	28	15	15	14	7	10	9	8	10	9	17	10	8	5	2112
1月	16	28	28	15	15	15	14	7	10	9	8	10	9	17	10	8	5	183

授精報告	未妊産		248頭		75%		%	
	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%
授精報告	1498	53	11	9	4	23	119	120
初前月	370	25	29	17	10	19	119	120
回3ヵ月	1082	27	30	17	10	17	119	120
授精	3279	23	29	19	11	18	119	120

月	経産牛1頭当たり年間成績		無脂固形分率		P/F比	
	乳量	乳脂率	無脂固形分率	無脂固形分率	P/F比	P/F比
12	8764	3.92	3.33	8.79	0.85	0.85
1	8773	3.92	3.33	8.79	0.85	0.85
2	8794	3.92	3.33	8.78	0.85	0.85
3	8788	3.91	3.32	8.78	0.85	0.85
4	8801	3.91	3.32	8.78	0.85	0.85
5	8825	3.90	3.32	8.77	0.85	0.85
6	8852	3.90	3.32	8.77	0.85	0.85
7	8896	3.89	3.32	8.77	0.85	0.85
8	8923	3.89	3.31	8.77	0.85	0.85
9	8946	3.89	3.31	8.77	0.85	0.85
10	8942	3.90	3.31	8.77	0.85	0.85
11	8969	3.90	3.32	8.77	0.85	0.85

年間追加 除糞牛	追加比率		乳量除糞(乳房炎)		腎臓除糞		膀胱除糞		消化器除糞		疾病計		低能力		死亡		乳用売却		除糞率		
	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	頭数	%	
未妊産	753	13.1	2.6	15.8	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	7.9	5.3	13.2	55.3	38	1	5	1		
1産	1075	18.8	10.0	11.8	2.1	2.9	9.6	20.4	18.9	20.4	18.6	280	5	7	16.6	17.7	17.9	385	7		
2産	26	0.5	15.1	14.5	3.9	1.0	7.5	16.6	17.7	17.9	385	7	16.6	17.7	17.9	385	7	16.6	17.7	17.9	
3産以上	45	0.8	16.0	10.5	3.5	2.4	7.2	19.0	18.7	15.7	19.6	907	16	5-11	5-8	5-3	5-11	303	337		
除糞日までの年齢(歳-月)	5-6	(5-7)	5-6	5-3	5-6	5-1	5-3	5-8	5-3	5-11	303	337	237	(210)	408	234	294	251	246	316	303
除糞日までの分娩後日数	237	(210)	408	234	294	251	246	316	303	337	237	(210)	408	234	294	251	246	316	303	337	237

(注) 除糞牛別には乳用売却は含まれておりません

NTP上位40位以内【新規牛は除く】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

総合指数順 (N T P) 《2015-8》

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本会で扱いがあるもの)

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (NTP)	生産能力のEBV(推定各種価)										体系のEBV				血統情報		管理形質		
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体幹と 骨格	肢蹄 強度	新用 強度	乳器	決定 得点	体細 胞入り	父牛	母系祖父	産子 難易度	在群期間 以乳特優性		
A	2	JP3H54722	SP プランディバックスター-ET	92,926	134,538	2,896	1,268	78	0.27	128	0.16	54	0.12	0.18	0.32	0.16	0.52	0.47	2.38	Tハズター	x	オーン	8	101	102
A	4	JP3H55177	エンデハ-コスモキヤラジー-ET	66,112	187,284	2,756	2,124	74	-0.07	174	-0.1	53	-0.14	0.81	-0.26	1.46	0.59	0.53	2.08	ワラホ	x	ワラホ	6	99	101
A	5	JP3H54828	クワンハイツレガリア ET	91,563	105,967	2,719	1,241	59	0.10	78	-0.29	40	0.00	0.90	0.67	1.42	1.84	1.69	1.83	ハズター	x	ゴードウィン	8	102	100
A	6	JP0H55536	NLBC ハリケラス オーン ET	59,402	91,361	2,641	854	45	0.12	96	0.2	43	0.15	1.91	0.57	1.86	1.60	2.01	2.26	ハーンズ	x	ハーンズ	7	100	101
A	7	JP3H55046	オムラスイデーヤルジャン ET	37,260	62,995	2,626	343	61	0.50	61	0.32	41	0.31	2.10	1.00	2.47	1.49	1.94	2.39	ハーンズ	x	ハーンズ	9	99	100
A	8	JP3H55206	エルムレーン ミスター アラックス	50,886	169,501	2,600	2,013	44	-0.30	172	-0.04	57	-0.07	0.78	0.32	1.35	0.67	0.83	2.35	ハーンズ	x	ジャコブス	6	99	102
A	11	JP4H54859	モトラップ コールデン ホルトン ET	85,093	55,077	2,575	204	73	0.69	43	0.27	35	0.30	-0.30	0.25	-0.01	0.97	0.45	2.26	ホルン	x	オーン	8	102	101
D	13	JP3H54903	ストーンアインパー ハーンズ ET	43,611	157,974	2,510	1,965	32	-0.39	160	-0.11	53	-0.09	1.88	0.99	1.58	1.50	1.84	2.54	ハーンズ	x	ワイン	9	99	101
A	16	JP3H55056	モニングビュー SHTL ヴィララス ET	101,751	149,068	2,429	1,851	34	-0.34	148	-0.13	46	-0.13	0.74	0.61	0.82	1.57	1.31	1.68	ワラホ	x	ワラホ	6	102	101
A	21	JP5H53562	オナーアームハートラカスター-ET	36,639	96,284	2,383	920	46	0.10	100	0.19	44	0.14	-0.91	0.94	0.52	1.35	0.84	2.40	オナーアーム	x	ワラホ	10	99	100
A	25	JP5H54423	WHG パーlett ジャムナ ET	54,340	86,204	2,317	747	61	0.32	77	0.12	35	0.11	1.28	0.66	1.62	1.18	1.38	1.96	ハルカ	x	オナーアーム	8	100	101
A	27	JP5H55084	オムラスイト エディ-ET	41,266	139,901	2,250	1,628	45	-0.17	137	-0.05	50	-0.03	1.44	0.04	0.77	0.30	0.86	2.04	ワラホ	x	ワラホ	6	99	100
A	32	JP3H54723	ハンガロン UF ストラカ-ET	69,199	134,039	2,213	1,502	53	-0.05	127	-0.04	35	-0.13	0.15	0.58	0.91	1.65	1.32	2.42	ワラホ	x	ワラホ	7	100	100
A	35	JP5H53812	WHG オージェニックジョブアン ET	110,855	93,229	2,205	848	55	0.22	90	0.16	31	0.03	0.27	0.41	0.16	0.83	0.78	1.81	オーン	x	オーン	7	102	101
A	39	JP3H53999	シレットライクエープ スパークリング ET	52,710	112,775	2,112	1,563	31	-0.27	89	-0.44	34	-0.15	2.52	0.97	2.76	2.36	2.65	2.15	ゴードウィン	x	ワラホ	9	101	101

入手難易度

A: 配希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配布(時期により入荷の激しいもの) C: 制限配布(少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛複合奇形形成不全症(CVA)は掲載牛全頭無性。プラキスバイン(BV)については、掲載牛全頭検査済みで、保種牛については名号の後に*BYGと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに県下各産地精液採取団体まで注文願います】

《8月新規牛でNTP40位以内》

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本会で扱っているもの)

総合指数順 (N T P)

《2015-8》

供給 難易	NTP 順位	略号	種雄牛名号	長命速産 効果 (E)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (NTP)	生産能力のEBV(推定育種値)							体型のEBV				血統情報		管理形質					
							M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体高と 背骨	肢蹄	乳用強 個性	乳房 発達 程度	体細胞 スコア	父牛	母牛	産子 類型率	在群期間 泌乳持続性			
?	1	JP5H55552	サンワード スーパー エーション ET	120,716	142,225	2,906	1,601	57	-0.05	133	-0.06	45	-0.06	0.46	1.28	0.83	1.52	1.44	1.75	スーパ- x パワースター	x	パワースター	6	102	100
?	3	JP3H55731	ケネディランド プラット トップ ET	63,551	151,618	2,764	1,699	56	-0.09	148	-0.01	61	0.05	0.44	0.04	0.03	0.36	0.21	2.68	プラット x トップ	x	トップ	6	100	100
?	12	JP3H55626	ジエネサイト オーマン ルビナス ET	105,912	106,219	2,529	1,175	37	-0.08	107	0.04	41	0.03	0.63	1.17	0.87	1.45	1.58	1.94	オースティン x ゴールドウイン	x	ゴールドウイン	5	102	100
?	14	JP5H55477	J リード マカイ ヒーロー フォー	73,444	126,199	2,502	1,501	46	-0.11	114	-0.16	46	-0.02	1.12	0.65	1.52	0.98	1.39	2.28	マカイ x パワースター	x	パワースター	8	101	99
?	22	55867	NLBC マリアット フルサー	76,563	75,450	2,382	726	35	0.07	78	0.15	37	0.13	0.00	1.21	0.86	2.28	1.87	1.99	マリアット x エリアット	x	エリアット	5	101	101
?	23	JP3H55409	レッドスター アレキサンダー クリネット ET	63,378	128,810	2,362	1,352	69	0.16	113	-0.05	35	-0.08	0.73	0.46	0.48	0.71	0.77	2.11	アレキサンダー x ゴールドウイン	x	ゴールドウイン	7	101	102
?	24	JP3H55421	スミターブル ローダー ジョー	73,069	112,340	2,323	1,178	71	0.24	88	-0.14	29	-0.09	1.26	0.58	1.09	1.71	1.53	2.58	ジョー x ルー	x	ルー	8	101	100
?	26	JP5H55672	レイクビュー SC ルーレット ET	93,483	130,802	2,295	1,590	27	-0.32	136	-0.03	40	-0.11	0.45	0.76	0.71	1.73	1.46	1.91	スーパ- x エピソード	x	エピソード	6	101	101
?	28	JP3H55560	クワックイーカース FV エルバーション ET	82,127	54,054	2,239	420	30	0.14	62	0.26	36	0.23	1.02	0.69	0.97	1.77	1.67	2.04	オースティン x エリアット	x	エリアット	5	101	100
?	40	JP4H55624	サニーウェイ ネリー モード マカロ	66,003	132,554	2,072	1,619	41	-0.20	123	-0.17	38	-0.13	0.26	0.68	0.63	1.13	1.03	2.45	モック x パワースター	x	パワースター	6	101	100
							106,478	2,216	1,169	43	0.07	100	0.08	37	0.09	0.67	0.77	0.82	1.33	1.27	2.07				

入手難易度

A: 配種希望本数に応じて供給可能なもの。 B: 割当配種(時期により入荷の限られるもの) C: 割当配種(非常に少量しか入荷できないもの) D: 割当配種(非常に少量しか入荷できないもの) E: 本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの
牛白血球粘着性欠如症(BL)及び牛乳管管形成不全症(CV)は掲載牛全頭検査済みで、保種牛については名号の後に*BYCと表記。

【国内種雄牛の購買希望精液、または供給難易がC~Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに県下各凍結精液採取団体まで注文願います】

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な輸入検定済種雄牛(アメリカ)

T P I 順

サイヤーサマリーズ
《2015-12》

供給 種易度	TPI 順位	略号	種雄牛名号	TPI	乳量 (kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体型のEBV			血統情報		分娩 難易度			
										信賴度	体細胞	生産 寿命	体型	乳房		肢蹄	信賴度	父牛
B	1	7H11351	シーガルベイ スーパーサイヤー ET	TV TL 2,719	2,140	100	0.16	64	0.00	99	2.92	7.0	1.60	0.68	0.55	98	ロバスト × フラネット	7.6
A	3	7H11314	マウントフォールド SSI DCY モーガル ET	TR TV 2,540	1,305	82	0.26	39	-0.02	99	3.02	3.8	2.57	2.62	2.64	99	トロン × マーシュ	6.2
B	8	7H11477	テスー BK M マッカレン 1174 ET	TV TL 2,486	835	47	0.12	31	0.04	99	2.86	3.6	3.14	2.85	2.47	98	アツタ × シトル	7.7
A	34	200H3753	マーブリー フェイスアツク ET	TR TV 2,359	1,051	72	0.26	41	0.06	99	2.94	1.0	1.33	0.79	0.20	98	マンオーマン × エアライド	6.2
A	38	7H10721	テスー 521 フックタム ET	TR TV 2,341	1,222	26	-0.16	45	0.06	99	2.83	4.6	1.66	1.12	1.15	99	フラネット × フェス	6.7
B	54	1H10422	ワゴ N JD テンブシー	TV TL 2,298	975	58	0.16	23	-0.06	98	2.79	4.5	0.34	0.35	0.66	89	フルディー × フロト	6.7
A	59	1H09527	コープ ホースサイト マッセイ ET	TV TL 2,277	677	40	0.12	36	0.12	99	2.65	2.4	0.87	1.36	1.08	99	マスコル × プレバド	7.2
A	62	7H10849	レディース マナー PL シヤムロック ET	TR TV 2,275	977	36	0.00	16	-0.10	99	2.84	7.3	1.03	1.15	0.06	99	フラネット × シトル	7.0

入手難易度

A:配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B:割当配布(時期により入荷の厳しいもの) C:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) D:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E:本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに県下各達結精液取扱団体まで注文願います】

【管理形質の見方について】

※ 分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
難易度8%が平均値で、この数値が高くなるほど、難産の可能性が高くなります。
特に未系産や尻幅のない小型の娘牛、ETとしての利用の交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選抜するよう心掛けてください。
潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を待つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な検定済種雄牛(本会で扱いがあるもの)

順 I P L バランスブリーディングガイド 《2015-12》

供給 難易	LPI 順位	略号	種雄牛名号	GLPI	乳量 (kg)	乳脂肪防		乳蛋白		体細胞 信頼度	体型のEBV			血統情報		管理形質		
						F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)		尻	乳用強 優性	乳器	肢蹄	父牛	母系祖父	分娩能力	
A	6	200H3771	OCD スターゲイザ ET	3,038	2,691	50	-0.41	65	-0.18	2.77	94%	12	-2	6	15	5	スパー × ILカント	98
A	14	200H3753	マーブリ フェイスブック	2,936	1,635	94	0.3	65	0.09	2.92	98%	5	-8	9	4	5	マンオーマン × エアライト	104
A	27	29H14062	テスー ジェビー ET BYC	2,876	2,553	60	-0.29	67	-0.13	2.73	97%	11	7	4	8	12	ホルン × ジャトル	97
A	33	200H0528	シルダール ジェット エア ET B/R	2,859	1,279	61	0.13	24	-0.14	2.51	96%	9	6	2	9	11	ハクスター × BW マーシャル	109
A	66	7H10506	メイプル ダウンスIGW アットアウト	2,755	471	56	0.37	24	0.07	2.90	99%	16	-4	12	16	17	ゴードウイン × ターAA	97
A	76	200H5592	クラックホルム ファイバー	2,725	299	37	0.25	11	0.01	2.61	99%	12	9	5	9	14	エールドウイン × フリッツ	100
A	86	200H5929	ジェニベック ブラウラー	2,706	809	46	0.15	47	0.17	2.87	99%	8	5	0	7	10	ハクスター × ジャトル	101
A	98	200H0560	モニュメント インプレッション ET	2,685	1,302	44	-0.03	33	-0.08	2.53	88%	10	9	9	9	4	ソクラリス × ホッケー	98

入手難易度

A:配布希望本数に応じて供給可能なもの。 B:割当配布(時期により入荷の厳しいもの) C:制限配布(非常に少量入荷が続いているもの) D:制限配布(非常に少量しか入荷できないもの) E:本牛の体調不良等の理由で精液供給を停止しているもの

【海外種雄牛の購買希望精液、または供給難易度がC～Dの種雄牛精液を希望される方は、毎月20日までに県下各凍結精液取扱団体まで注文願います】

【管理形質の見方について】

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未経産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、娘牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未経産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を待つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となり

雌判別精液を利用するに当って注意事項

雌判別精液は、受胎後100%の子牛を保障するものではありません。実践データー上約90%の♀が期待できます。(米国において、約1～2割りは♂が生まれるという報告があります。)

雌判別精液は、通常の凍結精液と比較して、未経産牛での受胎率でも約15～20%低下が認められております。授精際には授精対象牛の状態をよく見極めた上でご使用ください。

輸入雌雄判別精液はすべて0.25CCの凍結ストローを使用していますので、0.25CC用人工授精用器具をご使用ください。

～ 乳用牛改良情報 ～
総合指数順 (N T P)

◎国内における精液供給可能な検定済種雄牛(本会で扱いがあるもの)H27.8現在

供給 難易	略号	種雄牛名号	長命産 効果 (円)	乳代 効果 (円)	総合 指数 (NTP)	生産能力のEBV(推定算値面)						体型のEBV				体細胞 入コア	血統情報	管理形質		備考			
						M (kg)	F (kg)	F (%)	SNF (kg)	SNF (%)	PRO (kg)	PRO (%)	体脂肪と 骨格	肢蹄	乳用強 優性			乳器	決定 係数		産子数推定 在群期間	産乳持続性	
?	JP3H55177X	エンデハ-コスモキヤラジ-ET	66,112	187,284	2,756	2,124	74	-0.07	174	-0.1	53	-0.14	0.81	-0.28	1.46	0.59	0.53	2.08	父牛 × 母系祖父	6	99	101	
?	JP3H54828X	グリ-ンハイツレガリア ET	91,563	105,967	2,719	1,241	59	0.10	78	-0.29	40	0.00	0.90	0.67	1.42	1.84	1.69	1.83	ハクス- × コ-ルタ-	8	102	100	
?	JP3H55206X	エルムレーンミスター-アレッカス	50,886	169,501	2,600	2,013	44	-0.30	172	-0.04	57	-0.07	0.78	0.32	1.35	0.67	0.83	2.35	ハ-ンク × ジェイクスリ-ム	6	99	102	
?	JP3H55056X	モ-ニングレ-ユー-SHTL ヴァワズ ET	101,751	149,068	2,429	1,851	34	-0.34	148	-0.13	46	-0.13	0.74	0.61	0.82	1.57	1.31	1.68	ヴァワズ × ヴァワズ	6	102	101	
?	JP3H55080X	エンデハ-ジュネイウオイス	71,751	112,300	2,412	1,292	32	-0.17	115	0.02	42	0.00	0.46	0.67	0.88	1.91	1.55	2.22	ハ-ンクワ- × ヴァクニ-ク	7	101	101	
?	JP5H55214SX	オムラスイ-テイ-スマ-ク-J ET	82,247	128,950	2,390	1,437	47	-0.08	127	0.01	45	-0.01	0.21	0.30	0.82	1.27	1.11	2.41	ジェイクスリ-ム × ト-スト-リ-	6	101	100	
?	JP5H53562SX	オーケ-ア-ラムハ-ト-ランカスター ET	36,639	96,284	2,383	920	46	0.10	100	0.19	44	0.14	-0.91	0.94	0.52	1.35	0.84	2.40	ヴァクニ-ク × ト-ド	10	99	100	
?	JP5H54423SX	WHG ハ-レツタ ジャムナ ET	54,340	86,204	2,317	747	61	0.32	77	0.12	35	0.11	1.28	0.66	1.62	1.18	1.38	1.96	ハ-ンク × ヴァクニ-ク	8	100	101	
?	JP5H55084SX	オムラスイ-ト-エ-イ-ET	41,266	139,901	2,250	1,628	45	-0.17	137	-0.05	50	-0.03	1.44	0.04	0.77	0.30	0.86	2.04	ワ-イ × ト	6	99	100	
?	JP5H55240SX	ノ-スグランド-マセライジエニハ-	44,964	135,305	2,209	1,530	48	-0.10	132	-0.02	44	-0.05	1.43	0.05	1.47	0.95	1.20	2.31	マセライ × ト	8	100	100	
?	JP3H53999X	シレット-テイ-カエ-ブ-ス-カ-リ-ン-グ ET	52,710	112,775	2,112	1,563	31	-0.27	89	-0.44	34	-0.15	2.52	0.97	2.76	2.36	2.65	2.15	コ-ルタ- × ヴァクニ-ク	9	101	101	

入手難易度

A:配種希望本数に応じて供給可能なもの。 B:割当配布(時期により入荷の厳しいもの) C:割当配布(少量入荷が続いているもの) D:割当配布(非常に少量しか入荷できないもの)

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。
 ～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪農 事業部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な(H27年12月現在)輸入検定済種雄牛(アメリカ)

T P I

サイヤーサマリズ
 (2015-12)

略号	種雄牛名号	TPI	別量 (kg)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)	脂質度	体細胞	体細胞 数	体形のEBV			血統情報		分娩 難易度	備考
											乳量	乳型	四肢	母系祖父	父系		
507H11351	シカール ベイ スーパーサイヤ ET	2,719	2,140	100	0.16	64	0.00	99	2.92	7	1.6	0.88	0.55	98	サイヤ x 祖系祖父	7.6	
507H11419	シカール ベイ ハイトライク ET	2,568	1,749	73	0.06	58	0.04	98	3.21	4.7	2.35	1.48	1.83	96	サイヤ x 祖系祖父	8.1	
507H11314	マウンテンバード SSIDCY モーグル ET	2,540	1,305	82	0.26	39	-0.02	99	3.2	3.8	2.57	2.82	2.64	99	トビー x マーゴ	6.2	
507H11585	サンデー ハレー スターバグ ET	2,521	1,804	54	-0.10	55	0.00	98	3.11	6.3	1.97	0.88	1.69	94	サイヤ x 祖系祖父	6.9	
507H11525	スター OCD マスター トナロ ET	2,496	1,109	68	0.22	45	0.10	95	2.91	6.7	1.26	1.15	0.64	91	サイヤ x 祖系祖父	5.9	
507H11283	スター D マスター 893 ET	2,278	1,179	28	-0.12	25	-0.08	99	2.88	4.4	1.87	1.57	0.54	99	トビー x 祖系祖父	3.8	
507H10849	サンデー スター PL シヤアウツ ET	2,275	977	36	0.00	16	-0.10	99	2.84	7.3	1.03	1.15	0.06	99	サイヤ x 祖系祖父	7.0	
507H10608	スター オブザパ ET	2,199	928	17	-0.14	26	-0.02	99	2.85	5.7	1.51	2.15	-0.6	99	サイヤ x 祖系祖父	5.8	
507H9925	コングラム ショルト キヤ ET	2,173	1,242	53	0.06	35	-0.02	98	3.16	1.9	0.87	1.20	0.01	93	サイヤ x マルコ	7.1	
507H10848	サンデー スター RD シヤアウツ ET	2,172	1,12	46	0.34	15	0.10	99	2.8	2.6	1.3	1.73	1.47	96	サイヤ x 祖系祖父	7.0	
507H10723	スター 527 スター ET	2,128	1,245	11	-0.28	21	-0.14	99	2.79	4.7	1.87	2.07	1.45	95	サイヤ x 祖系祖父	6.2	
614H6441	ハードスクリュー ハンドレイク ET	2,043	459	54	0.30	21	0.04	93	3.04	0.7	1.39	0.77	0.91	92	サイヤ x 祖系祖父	5.8	
614H6809	キヤオン フォース AT エアウツ ET	1,991	727	19	-0.08	2	-0.16	97	2.86	0.1	3.53	1.74	3.98	95	サイヤ x 祖系祖父	8.5	
507H9222	リオンビル ショルト レイ ET	1,960	452	41	0.20	9	-0.04	99	3.24	-0.6	1.59	1.19	0.48	99	サイヤ x 父	5.5	
507H10506	マイブル タカズ IGW エアウツ ET	1,952	-31	26	0.22	3	0.02	99	3.05	0.3	3.78	2.64	2.97	99	サイヤ x 父	8.6	
507H10563	MD ハレービル キー RED ET	1,952	893	3	-0.26	15	-0.10	97	2.96	2.2	1.51	1.34	1.20	94	サイヤ x 祖系祖父	9.6	
507H11118	スター エアウツ エアウツ ET	1,945	-181	15	0.18	10	0.12	97	3.16	-2.1	3.25	2.97	1.74	95	サイヤ x 母	12.2	
507H10989	レーガンクレスト GV S エアウツ ET	1,933	774	-24	-0.42	14	-0.08	99	3.14	2.8	2.40	2.65	2.66	99	サイヤ x 祖系祖父	8.2	
507H10920	スター キヤンディ エアウツ ET	1,904	-215	2	0.08	-20	-0.10	99	2.82	1.3	2.46	2.48	2.24	99	サイヤ x 祖系祖父	5.2	
511H11100	ワラ ショルト エアウツ ET	2,505	798	70	0.32	45	0.18	97	2.75	3.8	0.49	0.28	1.65	91	サイヤ x 祖系祖父	5.2	
511H10661	サンデー エアウツ ET	2,227	1,028	20	-0.14	26	-0.04	99	3.06	5.0	1.92	2.11	0.43	97	サイヤ x 祖系祖父	5.6	
511H11080	サンデー エアウツ ET	2,196	868	11	-0.16	34	0.06	98	3.03	2.7	1.54	1.53	1.61	93	サイヤ x 祖系祖父	6.7	
511H11030	モニングビュー ショルト ET	2,221	1,062	46	0.06	26	-0.06	93	2.79	3.9	0.86	0.25	1.08	90	サイヤ x 祖系祖父	7.0	
511H11118	リオンビル ショルト ET	2,081	505	22	0.20	11	-0.04	95	3.15	2.1	2.73	2.65	1.63	92	サイヤ x 祖系祖父	7.0	
529H16017	モニングビュー エアウツ ET	2,315	1,010	31	-0.06	35	0.04	98	2.75	4.2	1.41	1.20	0.12	94	サイヤ x 祖系祖父	6.4	
529H14733	UFMS エアウツ ET	2,087	410	12	-0.02	28	0.12	99	2.99	4.4	0.44	0.41	0.19	97	サイヤ x 祖系祖父	6.6	
529H16153	レーガンクレスト エアウツ ET	2,138	110	23	0.16	14	0.08	98	2.83	6.0	0.84	1.85	0.55	96	サイヤ x 祖系祖父	7.8	
529H14141	コングラム エアウツ ET	1,931	347	19	0.04	6	-0.04	96	3.0	3.7	0.11	0.20	0.86	96	サイヤ x 祖系祖父	7.1	

※供給状況については日々変動しますので本文前に確認をお願いします。

これらのストローは0.25ccです。専用の注入器が必要となります。

～ 乳用牛改良情報 ～

兵庫県酪産 事業部 購買課

◎兵庫県において精液供給可能な(H27年12月現在)検定済種雄牛(本会で扱いがあるもの)

L P I

バランスブリーディングガイド
《2015-12》

略号	種雄牛名号	LPI	乳量		乳脂肪		乳蛋白		体細胞	信頼度	体型のEBV			血統情報		管理形質		備考
			(kg)	F (%)	F (kg)	F (%)	PRO (kg)	PRO (%)			体型	尻	乳用強 優性	乳器	肢蹄	父	母	
777H2770	サリー ハート メリディアン ET	2,832	2,228	36	-0.39	56	-0.14	2.99	98%	12	0	8	13	7	ゴールドウイン × プリッツ	母系祖父	106	
777H5592	クラックホルム ファイバー ET	2,725	299	37	0.25	11	0.01	2.61	99%	12	9	5	9	14	ゴールドウイン × プリッツ		100	
777H6183	コムスター レマスト	2,672	1,275	46	-0.01	51	0.08	3.09	95%	10	3	5	11	5	プラネット × ホルトン		105	
777H6053	ハレービル マスケティアー	2,602	331	35	0.21	20	0.08	2.68	95%	11	13	8	7	8	ホネター × ゴールドウイン		96	
777H6050	ブルノース ライジングスター ET	2,558	1,326	47	-0.01	61	0.15	2.88	93%	6	6	5	3	5	ストレンジック × ショトル		104	
777H2644	ミステイ スプリングス スモーキン	2,491	1,356	82	0.29	52	0.06	3.24	97%	10	10	15	5	9	ランガン × エビーアイ		102	
777H6198	ジェニベック ハラツク ET	2,442	560	53	0.31	40	0.19	2.73	96%	5	1	0	5	3	プラネット × ゴールドウイン		108	
777H0577	テスー オーツリテイー ET	2,425	1,308	49	0.02	73	0.26	2.84	94%	2	5	1	2	-3	ストレンジック × オーマン		109	
777H2137	ハインツリー シド ET	2,032	-187	11	0.18	1	0.06	2.94	99%	12	7	10	14	1	ミスターサム × ファインリー		96	
777H2221	ミステイ スプリングス ベンジャミン RED	2,028	-563	-3	0.17	-3	0.14	3.17	97%	5	-1	-2	8	5	サルムRC × 外シドRC		105	
777H2106	スタントンス ステディー	2,011	-321	53	0.62	1	0.10	3.09	99%	6	5	6	3	5	ミスターサム × コンベンサー		107	

入手難易度

※供給状況については日々変動しますので注文前に確認をお願いします。

〔管理形質の見方について〕

分娩難易度(%)については、当該種雄牛を未經産に交配した場合予想される難易度を示します。
 難易度は100を基準として、100以上は安産の傾向にあり、100以下については、難産の傾向を示す。
 分娩難易度の評価値については、犍牛の体高、尻幅を大型化させる傾向の強い種雄牛を交配すると難産を引き起こす点については若干の相関関係が確認されています。
 特に未系産や尻幅のない小型の娘牛やETとしての利用などの交配は、子出しの軽い安産タイプの種雄牛を選択するよう心掛けてください。
 潜在的遺伝能力の高い未經産、初産牛からの積極的な後継牛確保が連続性を持つことで、生乳生産性向上をする非常に重要な要素となります。

輸 入 粗 飼 料 の 情 勢

北米コンテナ船情勢

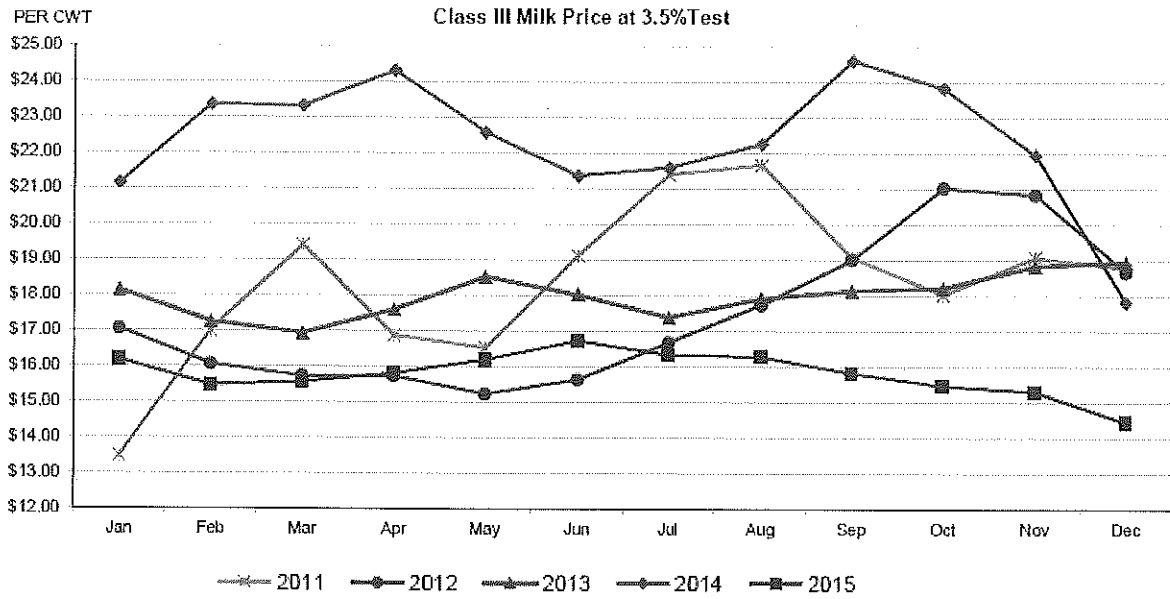
昨年12月半ばにコンテナ海運業界第3位のCMA CGMがシンガポールのNO Lを買収すると発表しました。その他にも中国資本のCOSCOとCSCL (China Shipping Container Lines) が合併協議を行うなど、海運業界の再編が進んでいます。このような動きの背景には世界的な海運不況があります。特にコンテナ船については、大型化により船腹は過剰気味であり、それに伴い海上運賃は低迷を続けています。

アジア - 北米間の輸送貨物の数量は前月に引き続き、アジア発北米向けの貨物が圧倒的に多くなっています。11月のアジア発北米向けの貨物は前年度比3.4%増となっており、12月の貨物数量次第では過去最高を更新することになります。これに対し、北米発アジア向けの貨物量は昨年10月時点の統計までで、15カ月連続で前年を割る数量となっています。

各船会社は北米出しの貨物の確保のために、アジア向けの海上運賃を下げ続けてきましたが、多くの船社が2月1日付けでの海上運賃一斉値上げ(GRI)の通知を出しました。既にアジア向けの海上運賃は底を打っている上、経営状況も厳しくなっていることから、値上げに踏み切る船社が出てくることが予想されます。

米国乳価状況

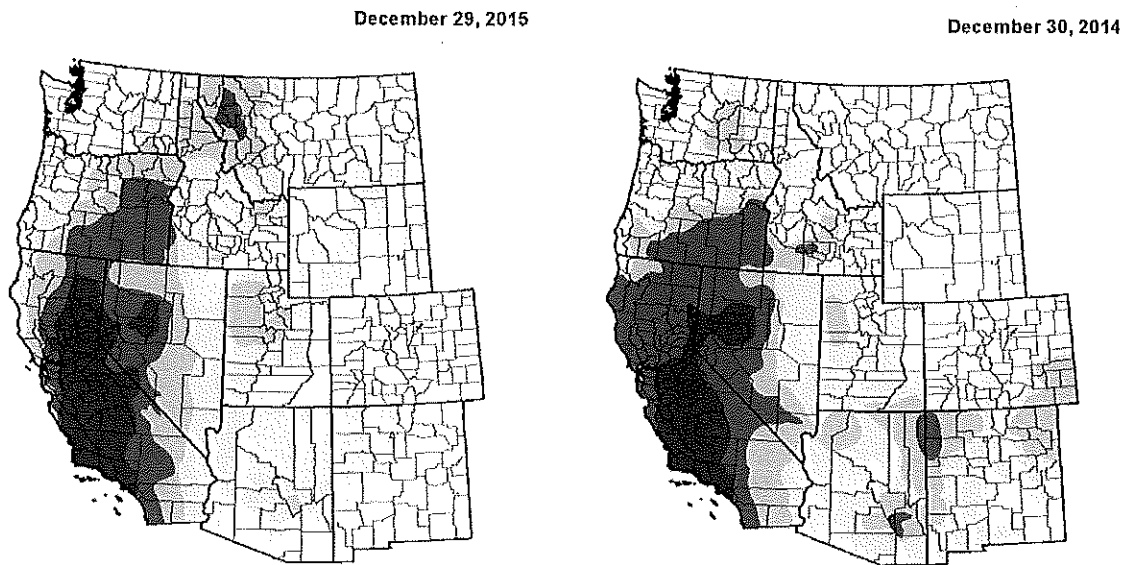
米国の乳価は引き続き、昨年までと比べ低迷しています。飼料コストは昨年に比べ下がっていますが、人件費や初妊牛・育成牛の価格が上がっており、乳価が生産コストを下回る厳しい状況が続いています。2016年前半の先物の乳価についても、今のところ大きな回復を予感させるものではありませんでした。現在の乳価レベルが続くと、昨年同様2016年産新穀のアルファルファの国内需要は弱く、産地相場も静かな展開になることが期待されますが、今後の乳製品の国際相場や他の穀物等の飼料価格の動向によっては状況が一変する可能性もあります。



USDA発表 米国乳価グラフ:クラスIII チーズ向け CWT(100ポンド≒45.4kg)当たり

カリフォルニア州の旱魃状況

2年続けて大旱魃が続いているカリフォルニア州ですが、今年の冬は例年並みの降雪が観測されています。州都サクラメントの東に位置するシエラネバダ山脈の12月末の積雪量は、2014年末の9.3インチに対し、2015年末では21.3インチとなっており、他の地域を含めて前年に比べ2倍以上の降雪となっています。しかしながら、過去2年間の大旱魃によって各地域のダム貯水量は未だ例年の半分程度のところが多く、今後の降水量にはより注意が必要な状況です。



赤色が濃いほど深刻な旱魃状況を示す

(Drought Monitor 左2015年12月29日、右2014年12月30日)

ビートパルプ

米国での製糖作業は順調に行われております。地域差はあるものの日本向け主力のミネソタ州、ノースダコタ州においては来春まで精糖及びペレット生産が続きます。アイダホ州、ミシガン州など早くから作付けを行う地域で3月末、日本向けの主力産地であるミネソタ州、ノースダコタ州では4月中旬より新穀の作付けが開始されます。

アルファルファ

2015年1月から11月の米国輸出統計によると、中国向けは計80万トン近くとなっています。過去数年のような爆発的な伸びは今後考えにくい状況ですが、中国国内では1万キロを超える牛群も多く出始めており、より良質な乾草の需要は底堅いものと想像できます。一方、中東諸国の動向をみるとサウジアラビアが台湾の輸入量を超え、中国、日本、UAE、韓国に続く米国産アルファルファ第5位の市場となっています。

米国産 アルファルファ輸出量 2015年(1-11月)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
日本	35,832	41,544	54,721	49,400	38,596	28,673	29,387	32,316	34,316	39,240	40,765	424,790
韓国	13,783	14,976	22,365	20,954	17,485	15,037	10,672	12,162	10,597	13,963	15,135	167,129
UAE	3,205	3,533	3,915	7,406	11,984	26,757	19,517	31,491	27,345	35,833	26,890	197,876
台湾	5,377	2,820	5,917	7,450	6,973	5,478	6,019	4,678	5,224	5,780	5,538	61,254
中国	46,893	47,124	72,645	95,556	91,325	76,907	86,710	80,176	60,711	69,781	70,007	797,835
ベトナム	1,008	319	1,855	420	2,184	0	590	1,313	1,101	1,788	685	11,263
サウジ	701	1,995	0	1,800	984	3,650	9,957	9,991	6,066	12,054	14,747	61,945
カナダ	1,789	1,502	1,505	1,745	1,866	1,903	5,049	6,065	4,339	4,787	2,443	32,993
インドネシア	0	241	151	528	752	702	64	311	213	296	0	3,258
マレーシア	72	95	46	99	37	47	161	43	0	71	109	780
その他	1,452	1,364	1,214	1,614	743	758	978	779	420	637	527	10,486
計	110,112	115,513	164,334	186,972	172,929	159,912	169,104	179,325	150,332	184,230	176,846	1,769,609

ワシントン州産を中心としたPNW産は、発生量が少なかったプレミアム品の需要は国内・輸入向けに一定の需要がありますが、一部のプレミアム品以下のグレードについては在庫がやや重い状況となっています。一方、PSW産は日本向けの割合も増えてきており、中国・中東向けを含め荷動きは順調な模様です。

チモシー

米国産

15年産は昨年および一昨年の高値、港湾問題の影響で日本からの需要は減退していたため価格は大幅に軟化してのスタートとなりました。現在、プレミアム品の引き合いは堅調で産地在庫はほぼ完売に近い状況ですが、中級品の在庫は各サプライヤー潤沢に持っているようで、作柄が良い豪州オーツに需要が動いているところもあり、今後の価格動向には注意が必要です。また、ごく一部ながら日本・米国産地双方で14年産の在庫も一部抱えているところもあるようです。

カナダ産

レスブリッジ(アルバータ州南部・灌漑地域)の15年産は収穫期後半の不安定な天候の影響で茶葉やブリーチ(変色)が多くなり、中級品は全体の半分以上となっています。クレモナ(アルバータ州中央部・非灌漑地域(ドライランド))は早魃の影響により単収が20-30%落ち込んだことに加え、収穫期後半の8月下旬以降には不安定な天候が続き、雨あたりや刈遅れなどの低級品が発生しました。これらは国内の肥育向けなどに向けられ、一方、限られた上級品は馬向けの需要が旺盛だったことから、輸出向けの大半は中級品中心となっています。

スーダングラス

主産地インペリアルバレーの15年産スーダンの作付面積は、いわゆる早播きスーダンと競合するデュラム小麦の作付増の影響により、過去10年の平均と比べ20%程度減少しました。16年産スーダンの作付面積予測の指標となるデュラム小麦の12月15日時点の作付面積は、前年同期比でおよそ50%となっており、現時点で昨年ほどの競合は予想しにくい状況です。また、15年産のスーダン価格はここ数年に比べ生産農家にとって十分満足できるものではなかったことから、16年産に向け積極的に作付けをするのか注目されます。更に、最近の動きとして、インペリアルバレーではまだ限られた範囲ですが、有機野菜の作付が増えています。生産農家にとって有機野菜は需要の高まりもあり高価格で取引されるため魅力的な生産物になりつつあります。有機野菜としての認証を取るためには3年間、当該圃場の施肥管理等の制限を受けることとなり、スーダン等の牧草類の生産は非効率となるため、作付を回避することが想定されます。また、圃場を潰してソーラーパネルを設置する動きも年々進んでおり、デュラム小麦の作付動向だけでスーダンの作付面積を推し量れない要素が増えて来ています。

15年産の産地在庫は発生量が少なかった茶葉が少ないプレミアム品はほぼ成約済みで、その他の品質については一部在庫がある状況です。

クレイングラス(クレインは全酪連の登録商標です)

15年産クレイングラスの作付面積は微減となりましたが、今のところ、16年産についても大きな変動要因はなさそうです。日本および韓国からの引き合いは引き続き安定的に推移しています。そのため、15年産の良品の在庫は数少なくなっています。

ストロー類(フェスキュー・ライグラス)

オレゴン産ストローの市況は全般低迷していますが、フェスキューは韓国からの需要が堅調のため、産地価格は強含みです。ライグラスの産地相場は軟調に推移していましたが、海上運賃の軟化と新穀豪州産ストローの産地価格の上昇に乗じて、徐々に値上げの動きも予想されます。

豪州産オーツヘイ

西豪州

西豪州ではオーツヘイの収穫は終了しています。収穫期は晴天に恵まれ、大部分が上級品となり、雨あたりなどの低級品の発生は非常に限定的となりました。これら低級品の代替としてオーツヘイとストローを混ぜたものを提案しているサプライヤーが増えています。また、大手サプライヤーでは作柄が良く昨年に比べ価格も下がったことで需要が集中し工場がフル稼働の状況が続いています。

小麦ストローの収穫は終了しました。生育期の降雨不足と収穫期の天候不良で発生量は予想よりも減少しています。この影響で産地相場は昨年に比べ堅調に推移しています。

南豪州

南豪州でもオーツヘイの収穫は既に終了しており、大半が上級品となりましたが、収穫後期に一部で降雨があり、ごく一部で低級品が発生しました。しかしながら、その多くが国内農家向けに流れてしまい、輸出向けに出回るのは限定的となっております。11月下旬に南豪州で発生した大規模な火事(Bush Fire)の影響で生産農家に保管していた一部のヘイやストローの在庫がいくつか焼失しました。電力関係も一時ダウンしたため、南豪州のいくつかの工場は稼働を一時停止していました。その影響で出荷に遅れが出たため、その後は各工場がフル稼働が続いています。

小麦ストローの収穫は終盤を迎えています。南豪州でも生育期の降雨不足から単収が低めとなっているようです。

東豪州（ビクトリア州）

東豪州でもヘイの収穫は終了しております。他2州よりも収穫期の降雨が少なく、殆どがプレミアム品となりました。分析値も比較的高い傾向にあります。収穫期終盤の降雨でわずかに低級品が発生しましたが、これらの多くが早魃で放牧草不足の国内向けに販売され、輸出向けの余力はほとんどない状況です。西豪州・南豪州と同様に各サプライヤーからの出荷は順調なようです。ストローは他州と同様に単収が少なく生産量も限定的なため、産地価格は上昇しています。

以 上